

Sustainable Apparel Coalition in Japan ～SAC並びにHigg Index 2.0のご紹介～

日時：2014年5月20日(火) 14:00～17:30(受付開始:13:30)

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階 (JR東京駅八重洲北口より徒歩1分) 会場案内図:下図参照

主催：経済人コー円卓会議日本委員会

協力：株式会社アシックス
帝人フロンティア株式会社
東レ株式会社

定員：50名

参加費：無料

使用言語：日本語、英語(逐次通訳あり)

締切：5月16日(金)

皆様、サプライチェーンをどのようにどこまで展開していくべきか迷われていませんか？

サプライチェーンの活動を1社単独で展開していくことは、困難を極めています。こうした中で、他社との連携及び各サプライヤーの現場データ管理などを効率的に運営していくためには、テクノロジーを駆使したもの(情報プラットフォーム)が必要不可欠になります。欧米企業をはじめとする多くのグローバル企業は、限られた資源を有効に活用するために、いくつかの外部団体と連携しながら、サプライヤーのデータ管理や他社の情報共有化を積極的に展開しています。

そこで、このセミナーでは、サプライヤーのデータ管理を運営しているSAC(Sustainable Apparel Coalition)の代表であるMr. Jason Kibbeyを招聘し、SACの取り組みや概要説明をして頂きます。また、自社のサプライチェーンの活動に挑戦しつつ、SACに参加している日本企業の取り組み事例をご紹介します。SACは2012年、環境に関する項目の自己評価ツールである“Higg Index 1.0”を構築し、昨年11月、労働基準などを含めたCSR分野にも枠を広げた“Higg Index 2.0”を発表しました。これからのCSR活動に欠かせないコンセプトは、“IMPACT & SCALABILITY”です。企業がCSR活動を進めていく過程で、お互いに連携するところと単独で活動するところの線引きをどこにするのかの判断が、CSR担当者に求められてくることになると思われます。

このセミナーが、今後の皆様のサプライチェーン活動のご参考になることを期待しております。

会場ご案内図



Sustainable Apparel Coalition 代表
(Executive Director)
Jason Kibbey 氏



帝人フロンティア株式会社
情報企画部 部長 環境担当
宮武 龍太郎 氏



東レ株式会社
織維GR・LI事業推進室 室長
佐々木 康次 氏



株式会社アシックス
グローバル法務・コンプライアンス統括部
CSR・サステナビリティ部
CSR推進チームマネージャー
吉本 譲二 氏